

学校法人金沢工業大学 行動計画

女性の個性と能力が十分に発揮できる社会を実現するために、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間 : 令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (5年間)
2. 本学園の課題
 - ① 工科系大学の為、女子学生の比率が小さい。今後、多くの女性技術者が社会で活躍できるよう、女子学生を積極的に募集する必要がある。
 - ② 本学の女子学生の割合は現在は14%までに増加してきたが、女子学生の指導を担う学園の体制として女性教職員の比率は目標値に達しておらず、十分とは言えない。
 - ③ 現職の女性教職員の能力をより発揮できるようにする必要がある。
3. 目標と取組内容・実施時期

目標1: 女子学生の割合は現在は14%までに増加してきたが、さらなる学生募集活動を継続し、学園の体制として女性教職員の比率を引き続き25%に近づける。

<取組内容>

- 令和2年4月～ 新規採用者に向けて、待機児童問題への不安を解消できるよう事業所内保育園の活用を積極的に情報発信する。
- 令和3年4月～ 女性の育児休業取得率は職員100%に対し、教員は75%となっている。女性教員が出産し、育児休業を取得しやすいよう、授業運営や学生指導についての支援策を検討する。
- 令和4年4月～ 任期付採用の女性教職員が、育児休業を取得する場合の任期延長(条件付)制度の導入を検討する。

目標2: 活躍する女性教職員を増やすために、女性教職員の意識改革のためのセミナーや業務のスキル向上を支援する。また、管理職における女性割合を23%に近づける。

<取組内容>

- 令和2年4月～ コミュニケーション能力向上や、自己成長に向けての研修会・セミナー参加への充実を図る。
- 令和3年4月～ 現在活躍している女性職員が意欲的に自らのキャリアアップを考えられるよう、係長・主任級を対象として学内セミナーを実施する。